

平成29年度日本小児外科学会
第5回定例理事会議事録

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水） 10：00～14：00

会 場：川崎市産業振興会館 11 階 第 6 会議室

出席者：越永従道（理事長）、田尻達郎（副理事長）、窪田正幸（理事・会長）、八木 實（理事・副会長）、奥山宏臣、山高篤行、廣部誠一、臼井規朗、金森 豊、野田卓男（以上理事）、猪股裕紀洋、仁尾正記（以上監事）、黒田達夫（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、渡井 有（財務会計委員長）、菱木知郎（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、小林 隆（庶務委員）、浦尾正彦（財務会計補佐）、北川博昭（第 33 回秋季シンポジウム会長）、佐々木英之（データベース委員会委員長）、島 秀樹（第 33 回秋季シンポジウム事務局）、仁田尾慶太（事務局）

欠席者：松藤 凡（第 34 回秋季シンポジウム会長）、米倉竹夫（利益相反委員会委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第5回定例理事会の議事録署名人は、廣部誠一理事、野田卓男理事とした。
2. 北川博昭会長より第33回秋季シンポジウムについて開催準備状況が報告され、了承された。
3. 平成29年度第4回定例理事会議事録につき、全会一致にて承認された。

4. 審議事項

- 1) 第 55 回学術集会について（窪田会長、小林庶務委員）

窪田会長および小林庶務委員より資料に基づき、会場レイアウト、プログラム案が提案され、承認された。

日時：平成 30 年 5 月 30 日（水）、31 日（木）、6 月 1 日（金）

会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

テーマ：家族の夢を紡ぐ小児外科：次世代への提言

- 2) 第 56 回学術集会について（八木副会長）

八木副会長より、招待演者が提案され、承認された。

日時：平成 31 年 5 月 23 日（木）、24 日（金）、25 日（土）

会場：久留米シティプラザ

- 3) 第 34 回秋季シンポジウムについて（黒田前理事長）

松藤次期秋季シンポジウム会長が体調不良により出席出来なかったため、黒田前理事長より資料に基づき、進捗状況が報告され、了承された。

日時：平成 30 年 10 月 27 日（土）

会場：聖路加国際大学

テーマ：総排泄腔異常

4) 庶務委員会審議事項（藤野庶務委員長）

藤野委員長より資料に基づき、WebEx 使用内規の改定を行ったと報告があり、承認された。変更内容は、予約カレンダーを理事と委員長に共有できるように設定すること、会議後の録音データは会議終了後に委員長がダウンロードして削除することを盛り込んだと説明がされた。

また、海外名誉会員の推戴に関する内規案が提案され、世界のトップレベルの小児外科医であること、小児外科学の発展に寄与したもの、理事会で適当と認めたもの、という内容を加えることとし、次回理事会で再度審議することとした。

5) 財務会計委員会審議事項（浦尾財務会計委員会補佐）

浦尾補佐より資料に基づき、PSI 電子版の新規契約を取るための会員への案内文が提案され、承認された。

6) 各種委員会審議事項

(1) 機関誌委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について提案があり、承認された。

- ・機関誌発表における倫理 COI について、今後機関誌委員会委員と査読者全員に COI 申告を依頼する。それに伴い、投稿規定の改定を行う。
- ・機関誌に投稿する際に倫理審査を通してから投稿してもらう様にチェックリストを改定する。

(2) 国際・広報委員会（越永担当理事）

越永担当理事より資料に基づき、以下の点について提案があり、了承された。

- ・役職等の英語表記の統一化について、配布された日本後と英語の対応表を各種委員会委員長宛に送って確認が取れた後、次回理事会で再度審議することとした。

(3) 教育委員会（山高担当理事）

山高担当理事より、以下の点について報告があり、了承された。

- ・第 55 回学術集会期間中に行う内視鏡手術セミナーについて、世川委員がアンケートの内容を見て演者を決定する予定である。
- ・卒前教育の状況について、過去に委員会が作成した資料を基に、総合調整委員会で検討を行う。

(4) 学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・学会 HP に掲載している小児外科で治療する病気のページに内容が古く改定が必要

なものが掲載されているため、見直しを行う予定である。

(5) 倫理・安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より、第 55 回学術集会期間中に行う倫理講習会の演者を検討し打診していると報告があり、承認された。

(6) データベース委員会（山高担当理事、佐々木委員長）

山高担当理事および佐々木委員長より資料に基づき、以下の点について提案があり、承認された。

- ・学会保有データの学術利用について、研究利用申請から公開までのフロー案の修正案、研究実施後から公開までのフロー案および研究利用申請の申請書式案が提案され、承認された。ただし、申請書の記載をサポートするようなマニュアルが付随していることが望ましい、という発言があり、データベース委員会で対応することとなった。
- ・臨床効果データベース整備事業について、小児内視鏡外科手術に対するデータベースの構築、長期フォローアップ DB システムの構築について進捗状況が報告された。

(7) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり承認された。

- ・委員会内規の統一化について、元となる庶務委員会の内規を整えたと報告があり、これから各委員会に送って整えてもらうように依頼をする予定である。

(8) 研究倫理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より資料に基づき、以下の点について提案があり、承認された。

- ・学術集会演題募集に際しての倫理的配慮に関する規定(案)について、内容を一部改変の上、PSJM 期間中に修正後の規定(案)を持ち回り理事会で諮った後、学術集会演題募集に盛り込むこととした。

(9) NCD 連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について提案があり、承認された。

- ・8月1日のNCD運営委員会において、日本ヘルニア学会から鼠径ヘルニアの項目を構築したいと要望があり、独立した構築を行うと二重入力懸念があり、本学会は鼠径ヘルニアの登録の件数が多く、詳細登録を行うようになると、症例登録の負荷が高まることが懸念されると報告があり、データベース委員会を窓口として認められたものであれば可能という事でまずは回答したと報告された。
- ・PSJM 期間中に行う NCD-領域会議資料について説明があり、医療品質評価の仕事が多過ぎるため、委員会補佐を募集して委員会業務を手伝ってもらうことを検討していると報告された。

(10) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、ガイドラインに関する審査規約（案）が提案され、承認された。

ガイドラインに関する審査規約

1. 日本小児外科学会が参加している組織で作成したものである。
2. 小児外科診療に関連する内容である。
3. Minds の手引きに準拠している。
4. 外部評価が終了している。
5. 1-4 の条件を満たしているものは原則承認可能として理事会に報告する。満たしていないものはその旨依頼者に報告して、委員会として審議内容をまとめ理事会に報告する。

(11) 法人格変更作業委員会（越永理事長）

越永理事長より資料に基づき、一般社団法人の定款案について、次回理事会までに内容の確認を行うこととし、次回理事会で再度審議することとした。

5. 報告事項

1) 理事長報告（越永理事長）

(1) 第 4 回メール審議報告（消化管ポリポージスのガイドライン作成委員、システムティックレビューの委員の推薦）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

ガイドライン委員の中からガイドライン作成委員 1 名

深堀優先生（久留米大学）

一般の小児外科学会評議員からガイドライン作成委員 1 名

内田恵一先生（三重大学）

一般の小児外科学会評議員から systematic review 委員 3-4 名

井上幹大先生（三重大学）

矢本真也先生（静岡こども病院）

七種伸行先生（久留米大学）

(2) 日本外科学会からの寄贈本「SURGERY TODAY vol47-10」を受領した。

(3) 日本外科学会からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書」を受領した。

(4) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.347」を受領した。

(5) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「「がんばれ！」 vol.164」を受領した。

(6) 日本医療安全調査機構からの寄贈本「急性肺血栓塞栓症に係る死亡事故例の分析」を受領した。

(7) 日本消化器外科学会からの通信文「第 75 回日本消化器外科学会総会のご案内」を受領した。

(8) 日本医学会からの通信文「再生医療等製品患者登録システムへの参加等について」を受領した。

(9) 日本医学会からの通信文「ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(胃癌)等の一部改正について」を受領した。

(10) 日本医学会からの通信文「相互接続防止コネクタに係る国際規格 (ISO (IEC) 80369 シリーズ) の導入について」を受領した。

2) 総合調整委員会報告 (田尻副理事長)

田尻副理事長より、以下の委員会報告があり、了承された。なお、指導医条件の見直しについては提案通り承認された。

(1) 学術集会における学会企画案について

(2) 学術集会演題の倫理規定について

(3) 専門医制度関連

指導医条件の見直しとして、以下の論文数基準の適正化を行ったと報告があり、承認された。来年の評議員会での承認が得られれば来年度の申請時より適応されることとなる。

・著書は市販されるものを原則とし、原著論文と同等とする。

・症例報告論文は論文5篇のうち3篇分まで認められるが、症例報告論文2篇を原著論文1篇と換算する (たとえば、原著論文2篇の場合、症例報告論文6篇が必要)。

(4) 学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策は何か

(5) 本学会の収益を増加させるための事業の具体案は何か

(6) 小児外科医の実績評価はどうあるべきか

(7) 本学会の将来を見据えた骨太の方針はどのようなものか

(8) その他

3) 庶務委員会報告 (藤野庶務委員長)

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2017年9月末現在の会員数は、評議員を除く正会員 1,816名 (うち海外2名)、評議員 317名、名誉会員 52名 (うち海外5名)、特別会員 68名 (うち海外1名) の合計 2,253名である。

4) 財務会計委員会報告 (浦尾財務会計委員会補佐)

浦尾補佐より、臨床効果データベース整備事業の指導医システム改修に伴う NTT-PC の支払いが完了したと報告された。

5) 各種委員会報告事項

(1) 機関誌委員会 (奥山担当理事)

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

・投稿論文の採択状況 (採択 9 編、不採択 2 題)

・転載許可申請 3 件

・日本小児外科学会雑誌 J-STAGE 未公開分については有料で掲載を進める

・メール審議 2 件

- ・優秀論文の選定作業は来年2月を目途に進める予定
- ・秋季シンポジウムの学術集会記録の構成案を作成し、北川会長に依頼予定

(2) 小児救急検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・第55回学術集会時に開催予定の小児救急セミナーは「気道異物・消化管異物について」をテーマとし、講師を検討予定。

(3) ワークライフバランス検討委員会（廣部担当理事）

廣部担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・第5回WLB講演会について

日時:平成29年10月27日(金)18時-19時

場所:川崎市産業振興会館第三会場(99名収容)

講師:日本医師会副会長 日本女性医師勤務対策センター長 今村聡氏

本講演会は日本医師会の助成金が得られる予定である。

(4) トランジション検討委員会（奥山担当理事）

奥山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告があり、了承された。

- ・外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブックは今までHP上の会員専用ページでしか閲覧できなかったが、一般の方にも閲覧が可能な場所にも掲載した。

6) 次回定例理事会日程の確認（越永理事長）

次回理事会は平成30年1月18日（木）11：00～16：00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____